

平成19年度全国公共図書館協議会研究集会
(平成19年6月8日)

国立国会図書館の 活動評価について

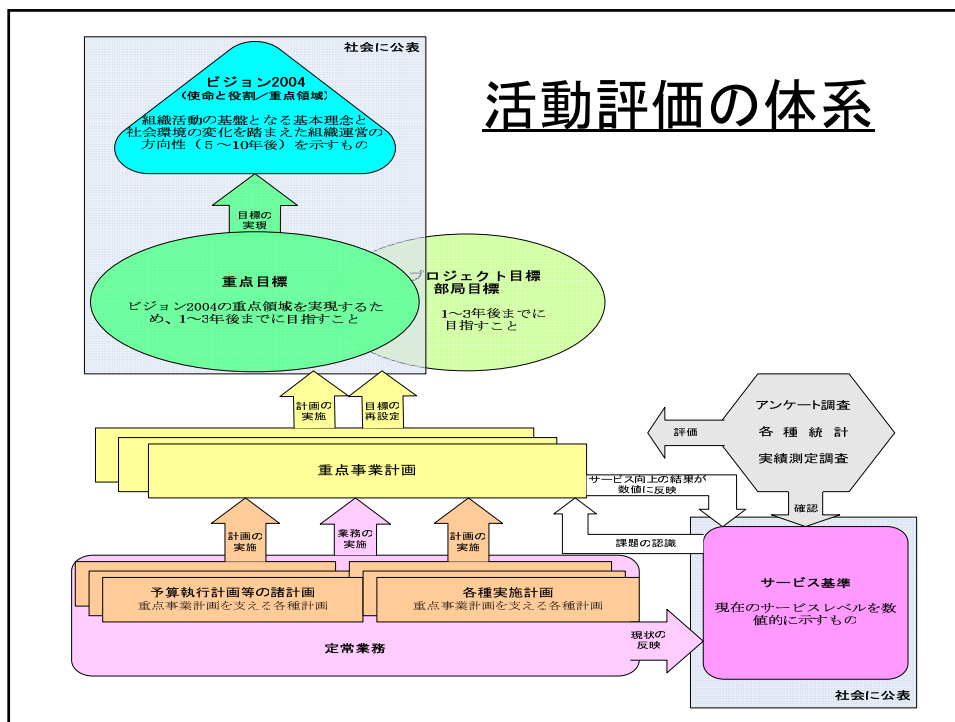
国立国会図書館
山口和之



国立国会図書館の活動評価

国立国会図書館の活動評価制度は、国の行政機関において平成13年1月から政策評価制度が導入されたことを受けたものです。立法府に属する当館においても、業務の効率的な運営を図り、また国民に対する説明責任を果たしていく上で評価制度の導入が不可欠と考えました。

しかしながら、立法府に属する当館の活動は行政機関のそれとはおのずから異なるところがあるため、「国立国会図書館ビジョン2004」^(後述)を頂点とした独自の体系を構築し、「活動評価」と名付けたものです。



活動評価導入の経緯

【外部のうごき】
 平成13年1月: 国の行政機関において政策評価制度導入
 平成14年4月: 「行政機関が行う政策の評価に関する法律」施行

【国立国会図書館のうごき】
 平成13~14年度: 評価制度の外部状況調査
 平成14年10月: 関西館開館(東京本館、関西館、国際子ども図書館の3施設による新たなサービスの開始)
 平成15年度: 国立国会図書館独自の評価体系の構築
 「国立国会図書館ビジョン2004」策定
 平成16年度: 活動評価の導入

活動評価の目的

- 活動・事業の適正な運営
- 活動・事業内容について国の機関としての説明責任の履行

目標の設定及び実現

目標では、組織全体に係る目標（ビジョン、重点目標、サービス基準）と、具体的な個々の業務に関する目標（部局目標、プロジェクト目標）を設定しています。

また、これらの目標を実現するための事業の計画として、重点事業計画や各種実施計画を策定して、実施しています。

目標及び評価の公表

組織全体の目標については、目標及びその評価(重点目標、サービス基準)を公表(ホームページ、「国立国会図書館月報」「国立国会図書館年報」)します。

また、個々の業務の目標及び重点事業計画については、その評価を事業運営に活用するとともに、重点目標の評価に反映した形で、重点目標の評価として公表します。

ビジョン

当館の使命・役割とともに、5～10年を対象とした中長期的な基本方針を示すものであり、今後、さらに取組みを強化すべき領域(重点領域)を示すものです。

現在のビジョンは、「国立国会図書館ビジョン2004」です。

国立国会図書館ビジョン2004^(*)

○使命と役割

○重点領域

- ・ 立法法補佐機能の強化
- ・ デジタル・アーカイブの構築
- ・ 情報資源へのアクセスの向上
- ・ 協力事業の推進

* 全文：http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/vision_2004.html

重点目標

1～3年を対象として、組織として重点を置くべき取組みについて、目標を設定するものです。

ビジョンが示す4つの重点領域に対応して、具体的で達成可能な目標としています。

平成18年度は、ビジョンの4つの重点領域に対して、13の重点目標を掲げています。(平成17年度は16目標、平成16年度は14目標)

* 平成18年度重点目標：http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/vision_h18_emphasis.html

重点事業計画

重点目標等を達成するために、目標を所管する部局では、具体的な重点事業計画、各種実施計画等を策定し、それを実施することによって、目標の実現を図ることになります。

したがって、重点目標等の達成は、これらの事業計画と実施状況と密接に関係しており、特に、重点事業計画の進捗は、重点目標の達成評価に大きな影響を与えることになります。

サービス基準

利用者(国民、図書館)に対し、当館の提供する図書館サービスの基準となる数値を具体的に示すものです。当館のサービスの品質を保證することを意図したものです。年度の終了後に、基準が達成されていたかどうかの検証を行い、その結果を公表しています。

* 平成18年度サービス基準:http://www.ndl.go.jp/aboutus/vision_h18_service.html

評価の方法

国立国会図書館が現在行っている活動評価は内部評価です。実施部門が自ら行う目標・計画の達成度等の評価と統計に基づいて、評価案を作成し、組織全体の視点で検討を行い、評価を確定しています。

○重点目標の評価

重点事業計画の一次評価(実施部門)

統計



重点目標評価(案)の作成(評価部門=総務部企画課)



重点目標、重点事業計画の二次評価(=評価確定)(組織全体)

* 平成17年度重点事業評価: http://www.ndl.go.jp/aboutus/vision_h17_emphasis.html

評価の方法

○サービス基準の評価

実績測定(実施部門)



数値の検証、評価案作成(評価部門)



サービス基準評価の確定(組織全体)

* 平成17年サービス基準評価: http://www.ndl.go.jp/aboutus/vision_h17_service.html

サービス基準の評価

○平成16年度

18基準34項目のうち、31項目の基準を達成。

未達成の項目は、レファレンスの回答日数、他の2件は調査期間中のサンプル数が少なく評価ができなかったもの。

○平成17年度

18基準30項目のうち、28項目の基準を達成。

未達成の項目は、総合目録の更新頻度、電子展示会の更新頻度。

○平成18年度

17基準30項目。達成状況については、取りまとめ中。

目標と計画の再設定

(実施部門の視点)

- 重点事業計画の評価
- 利用者アンケート調査分析
- サービス基準実績測定
- 重点領域から見た各種課題

(組織全体の視点)

経営資源(経費・システム資源・要員等)配分の最適化

次年度目標・計画の確定

評価サイクル

12月 1月 3月 4月 5月 6月

中間評価
実施
計画作成

次年度の
目標・計
画の確定

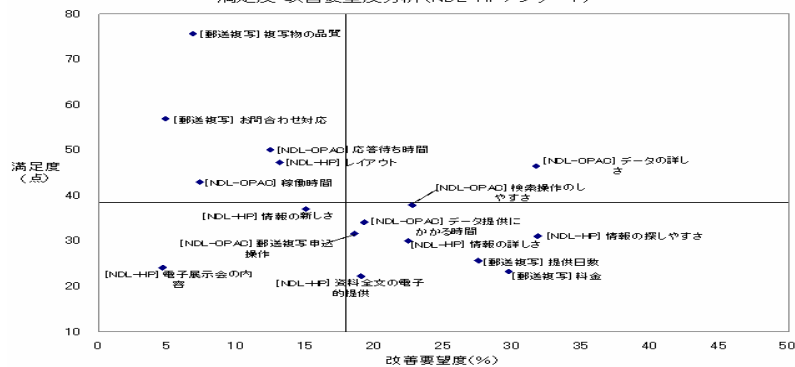
前年度の
目標・計画
の評価

重点目標・
サービス
基準の評
価と新目
標・基準の
公表

評価活動によるサービスの改善

平成18年度利用者アンケート(国立国会図書館ホームページ)の結果(抜粋*)

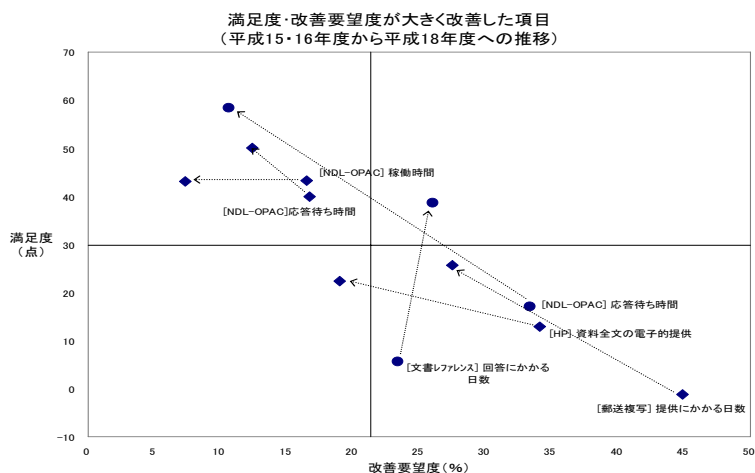
満足度・改善要望度分析 (NDL-HPアンケート)



※満足度は、「満足」= 100点、「やや満足」= 50点、「やや不満足」= -50点、「不満足」= -100点、「無回答」「利用していない」= 0点を配点し、これに各項目の回答割合を掛けて算出。改善要望度は、全回答者のうち各項目の改善を要望するとした回答者の割合。X軸、Y軸の区切り線は、全項目の平均値。

* 全文: http://www.ndl.go.jp/aboutus/enquete2006_03_01.html

評価活動によるサービスの改善



参考資料

国立国会図書館ホームページ

活動評価

(<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/vision.html>)

利用者アンケート調査

(<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/enquete.html>)

「国立国会図書館年報」

(<http://www.ndl.go.jp/jp/publication/annual/index.html>)

国立国会図書館ホームページ(<http://www.ndl.go.jp/>)

国立国会図書館
National Diet Library

トップ | よくあるご質問 | ヘルプ | サイトマップ | 印刷 | 小 | 大 | English

利用案内 | 東京本館 | 関西館 | 国際子ども図書館 | 複写サービス | 図書館員の方へ | NDL-OPAC(蔵書検索・申込) | NDLポータル
国会サービス関連情報 | 資料の検索 | 調べ方案内 | 電子図書館 | 電子展示会 | 刊行物

最新情報

6月4日(月)22:00から6月6日(水)22:00までレガシーシステムメンテナンスのためサービスが一部停止(メンテナンス)です

2007 国立国会図書館月報アンケートにご協力ありがとうございました

2007 新しい絵はかきができました

採用情報を更新(5月16日)

NDL Newsletter no.154を掲載

テーマ別調べ方案内を更新

Books on Japan 2007年1-3月分を掲載

第147回常設展示「近現代の職人」のプレットを掲載

2007 こどもの日に絵本ギャラリー「モダニズムの絵本『日常の中の芸術』提供開始

2007 帝国議会会議録データベースにコンテンツを追加しました

2007 NACSIS-II 経由・総合目録ネットワーク経由の検索・貸出の中止のお知らせ

以前の最新情報

スポットライト

読んで知る！国立国会図書館—広報誌『国立国会図書館月報』

国立国会図書館月報 広報誌『国立国会図書館月報』は、1961年の創刊時から国立国会図書館の活動や各種サービスについて総合的に紹介してきました。今年4月からフルカラーにするなど、改善に努めています。内容をより一層充実させ、さらに親しまれる広報誌にするため、読者アンケートを実施します。ご協力をお願いいたします。

絵本ギャラリー「モダニズムの絵本 日常の中の芸術」の提供を開始しました

モダニズムの絵本 日常の中の芸術 国際子ども図書館では、絵本の発祥から20世紀までの発展の流れを紹介する電子展示会「絵本ギャラリー」に、新たなコンテンツを追加しました。モダニズム芸術が絵本の世界でどのように表現されたのかを、1920年代～30年代の日本、ロシア、ドイツ、アメリカ等の絵本から探ります。

「帝国議会会議録」に新規データを追加しました

第74回から第77回(昭和13年12月～昭和20年6月)の帝国議会会議録を新たに追加し、第74回から戦後の第92回まで、約18万2千ページの帝国議会会議録が検索できるようになりました。昭和22年5月以降の国会会議録は、国会会議録検索システムで検索できます。

ライクリンク

国会サービス | 国会 | 国会会議録 | 近代デジタルライブラリー

国立国会図書館について | 当館の役割 | 納本制度 | 採用情報 | 調達情報 | サイトポリシー | お問い合わせ先

「活動評価」へのリンク

活動評価(<http://www.ndl.go.jp/aboutus/vision.html>)

国立国会図書館
National Diet Library

トップ | よくあるご質問 | ヘルプ | サイトマップ | 印刷 | 小 | 大 | English

利用案内 | 東京本館 | 関西館 | 国際子ども図書館 | 複写サービス | 図書館員の方へ | NDL-OPAC(蔵書検索・申込) | NDLポータル
国会サービス関連情報 | 資料の検索 | 調べ方案内 | 電子図書館 | 電子展示会 | 刊行物

トップ > 国立国会図書館について > 活動評価

国立国会図書館について > 活動評価

● 使命・役割

- 真実がわれらを自由にする
- 国立国会図書館の役割とは?

● 国立国会図書館運営

- 関係法規

● 常議会

- 納本制度常議会
- 日本法令沿革常議会
- 日本法令沿革常議会
- 科学技術関係資料整備常議会

● 政策・方針

- 国立国会図書館ビジョン2004
- 広報強化方針
- 電子図書館中期計画2004
- 次世代育成支援のための国立国会図書館行動計画

● 活動評価

- 活動評価
- 利用者アンケート調査

● 統計

- 国立国会図書館年報
- 国会へのサービス
- 行政・司法へのサービス

活動評価

国立国会図書館では、当館の果たすべき使命・役割および将来目指すべき方向性を明確にするため、「国立国会図書館ビジョン2004」を策定しました。

- 国立国会図書館ビジョン2004

目標と評価

国立国会図書館は、当館の活動内容を広く国民の皆様に説明することを目的として、平成16年度から評価制度<評価制度の説明>を導入しています。評価制度においては、「国立国会図書館ビジョン2004」の実現に向けて、年度ごとに具体的な目標・基準を掲げ、年度終了後にその評価を公表します。こうした取組によって、一層のサービスの向上に努めます。

重点目標

ビジョンを実現するために1～3年の間に取り組む具体的な目標とその評価について紹介しています。

- 平成16年度重点目標
- 平成17年度重点目標と評価
- 平成18年度重点目標と評価

サービス基準

当館が現在提供している主なサービスの水準について具体的な数値を用いて説明すると共に、その評価を紹介しています。ビジョン、重点目標、サービス基準について、ご意見はこちらへ: hyoka@ndl.go.jp

- 平成18年度サービス基準
- 平成17年度サービス基準と評価
- 平成16年度サービス基準と評価

このページの先頭へ

戻る